

# PMOを活用した品質向上への取り組み ～運営を最適化していく実践的アプローチとは～

SCSK株式会社

事業革新推進グループ グループ統括部

常盤 努

2023/6/20

ITの、  
つぎの、幸せへ。

IT for the Next Delight

**SCSK**

# 会社紹介

# 知名度ないのですが、SCSK、ご存じですか？

**CSK** | 株式会社CSK

19**68**

19**69**

約**40**年後、  
縁あって一緒に

20**11**

**SCS** + **CSK** →

**SCSK**

**SCS** | 住商情報システム株式会社

売上高

**4,459** 億円

(2023年3月期 連結)

お客様

約 **8,000** 社

(2023年3月期)

従業員数

**15,328** 人

(2023年3月31日現在 連結)

従業員満足度

**91.8** %

(2022年3月期 単体)

# 本当に働きやすいんですか？

月間平均残業時間

**21**時間 **43**分

(2022年3月期)

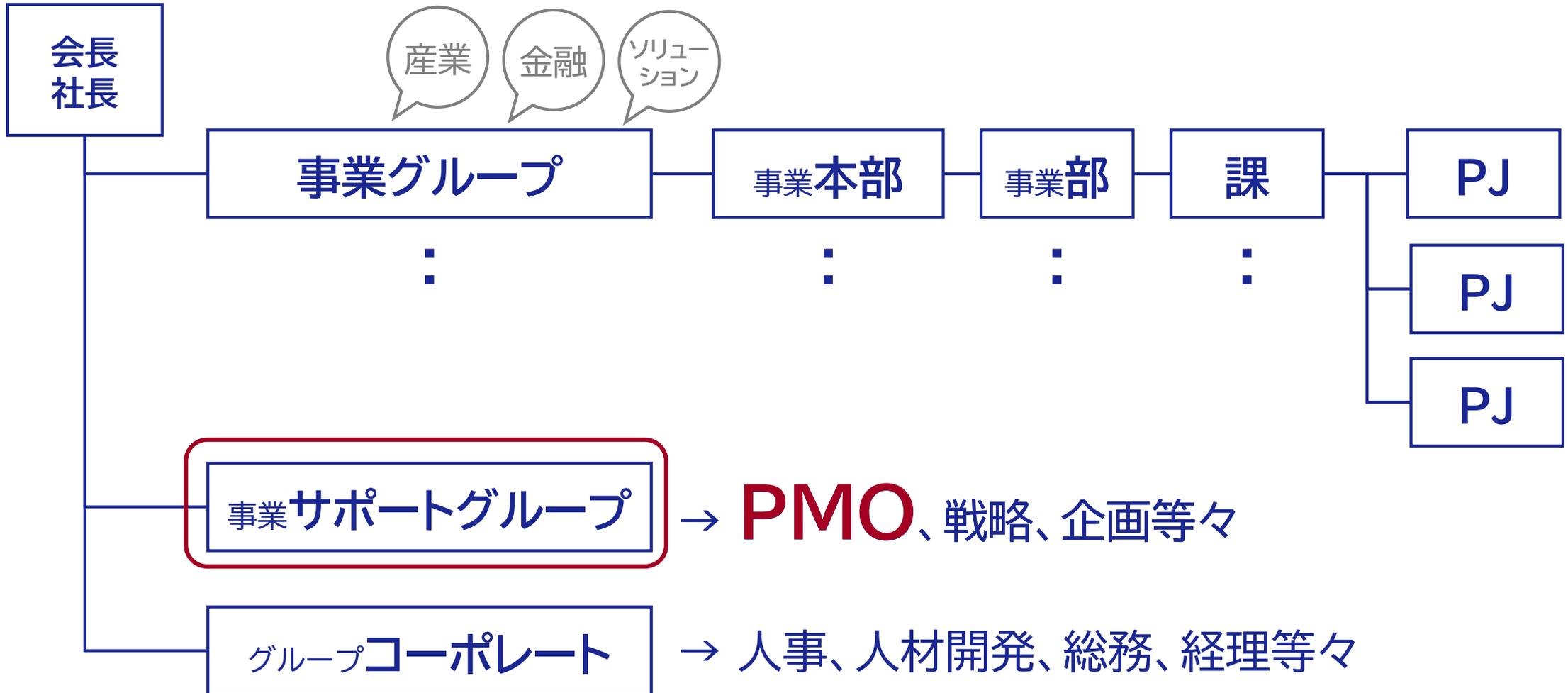
有給休暇取得率

**90.9** %

(2022年3月期)



サステナビリティ経営へ



- 1** サステナビリティとPMO
- 2** 独自標準と組織活動
- 3** 監理制度と監視運営
- 4** あるぞ、ITの可能性



# 1 サステナビリティとPMO

## 企業の重要課題

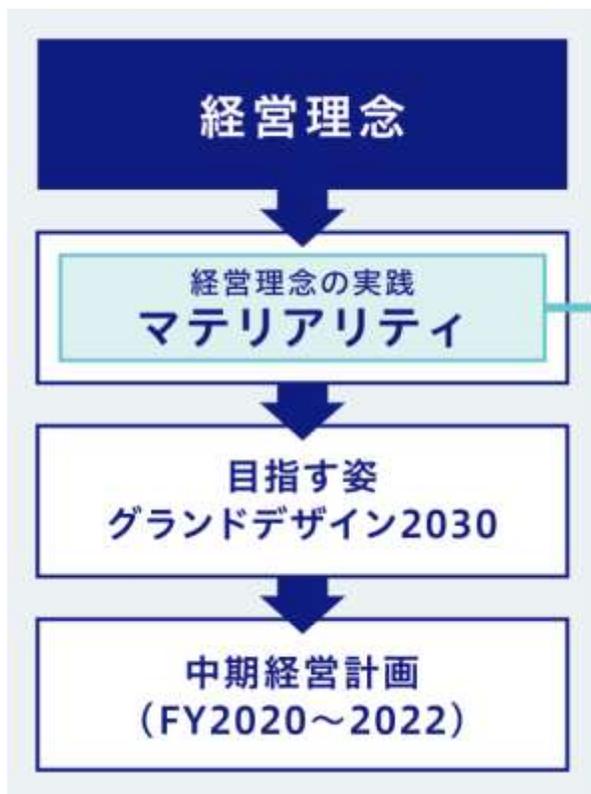


## マテリアリティ

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 夢ある未来を共に創る



社会課題解決を通じた持続的な事業成長

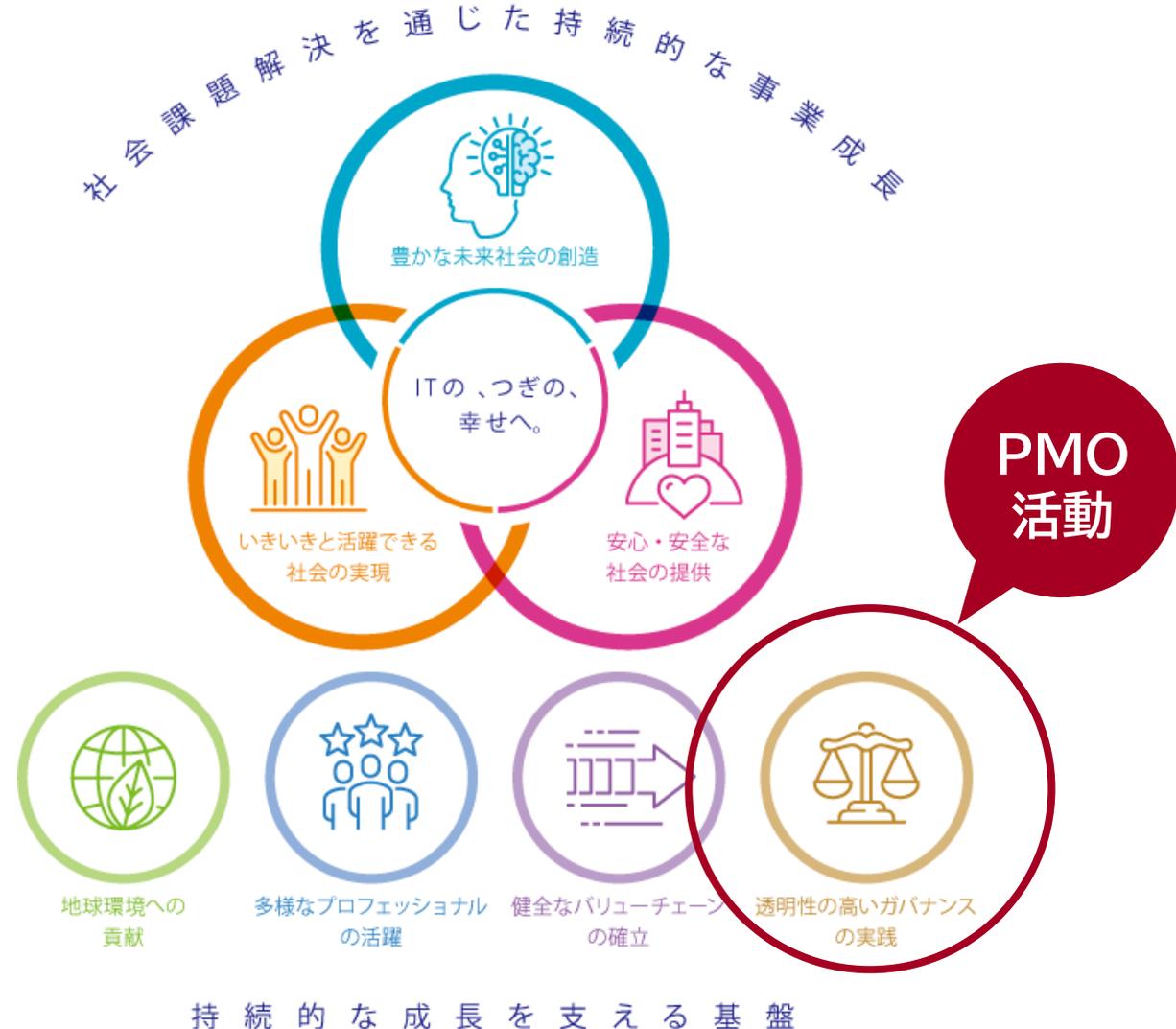


持続的な成長を支える基盤

## 基本的な考え方

SCSKの「品質」向上への取り組みは、技術革新と社会変革が急速に進むなか、単なる品質保証・品質管理のための仕組みから、**付加価値の高い製品・サービスを提供するための仕組みへと進化**しています。

品質の向上に取り組みつづけ、システムのライフサイクル全体を見据えた製品・サービス提供から得られた知識・ノウハウを集積していくことにより、付加価値の高い製品・サービスを確実に提供していきます。



## SCSK品質

「お客様にご満足いただけること」、これこそが製品・サービスにおける品質で**最も大切なこと**だと、SCSKは考えています。

そのために必要なことは、「**マネジメントの質**」「**成果物の質**」の、両方を向上させることです。SCSKではこの2つを合わせ、「**SCSK品質**」という言葉で定義しています。

マネジメント  
品質



成果物  
品質

- SCSKの組織や人に対して、お客様が信頼感、満足感を得られる状態。つまり、マネジメント行為や組織対応の質が良い状態。
- お客様に納品する製品・サービスがお客様の要求に定義されている目的を満たしている状態。

SCSK  
品質



## 2 独自標準と組織活動

## 由来

▶ 合併後のイベントとして、**社内公募**で決めたのが…



● SmartPlus



● Episode/II



Smart  
Episode  
Plus

## コンセプト

SCSKが培ってきた現場の知見を結集し、プロジェクト管理・システム開発のプロセス体系を整備したSCSK独自の標準です。

SCSKが提供しているITサービスにおいて、安定した品質を確保できるように定義されています。

導入後、適用しやすくするための環境づくり、使うことのできる人材の育成、SE+定着に向けたさまざまな普及活動を実施してきました。SE+の導入拡大により、さらなる組織的な品質向上に取り組んでいます。



プロジェクト管理

組織活動

情報セキュリティ

## SE+ Master

プロセス標準を定着させるためには環境・システムなどの仕組みだけでなく、人材育成も重要です。

そこでSCSKでは、2016年度より、SE+スキルを持つ人材を認定する資格制度「SE+ Master」と、資格取得のためのSE+認定試験を開始しました。開始から1年半で合格者は3,000人以上となり、現在も増加中です。

目的

## SE+の浸透と実務適用の促進

PM



SMOP

エンジニア



SMOD

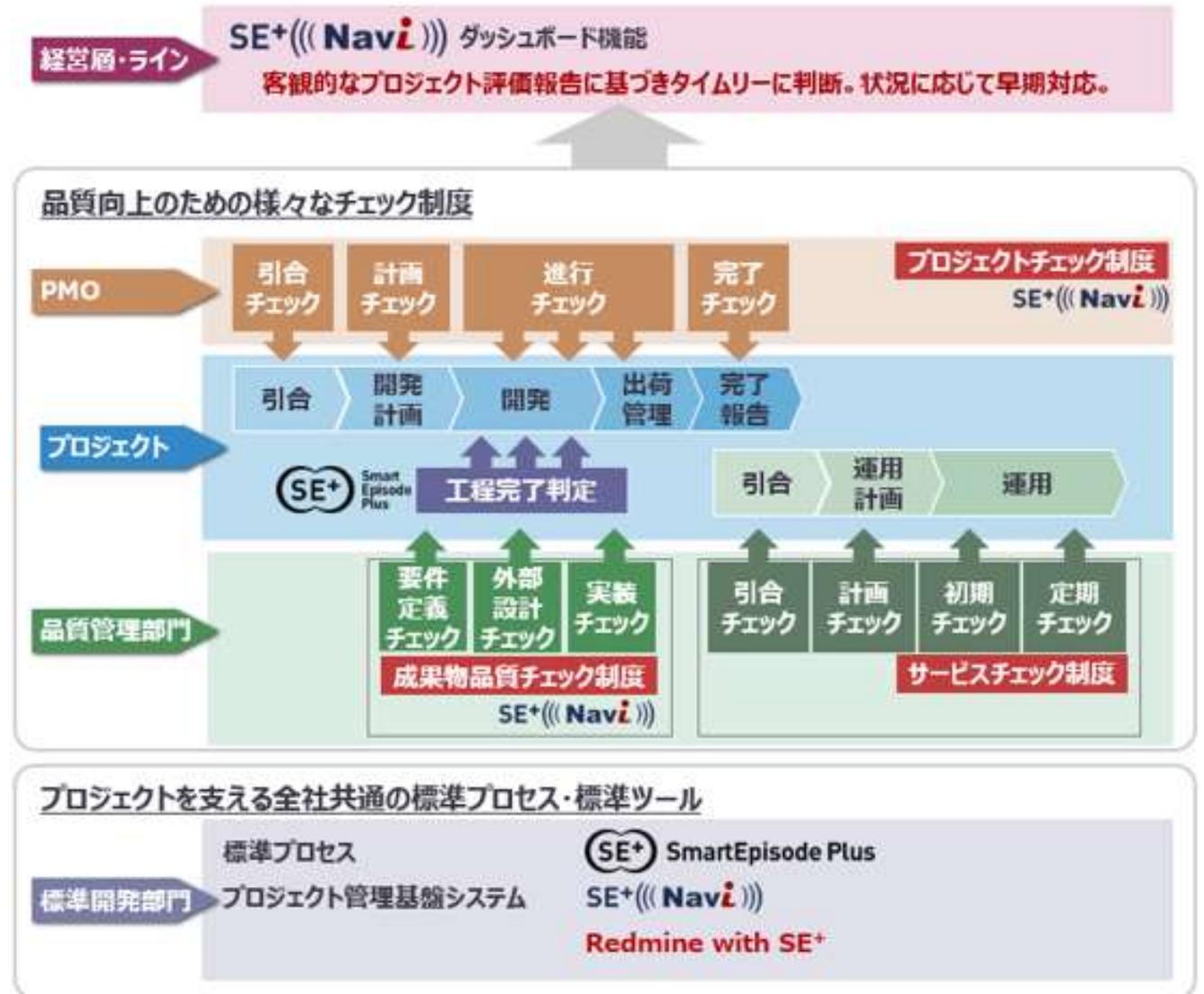
品質  
管理者



SMOQ

## 組織活動の全体像

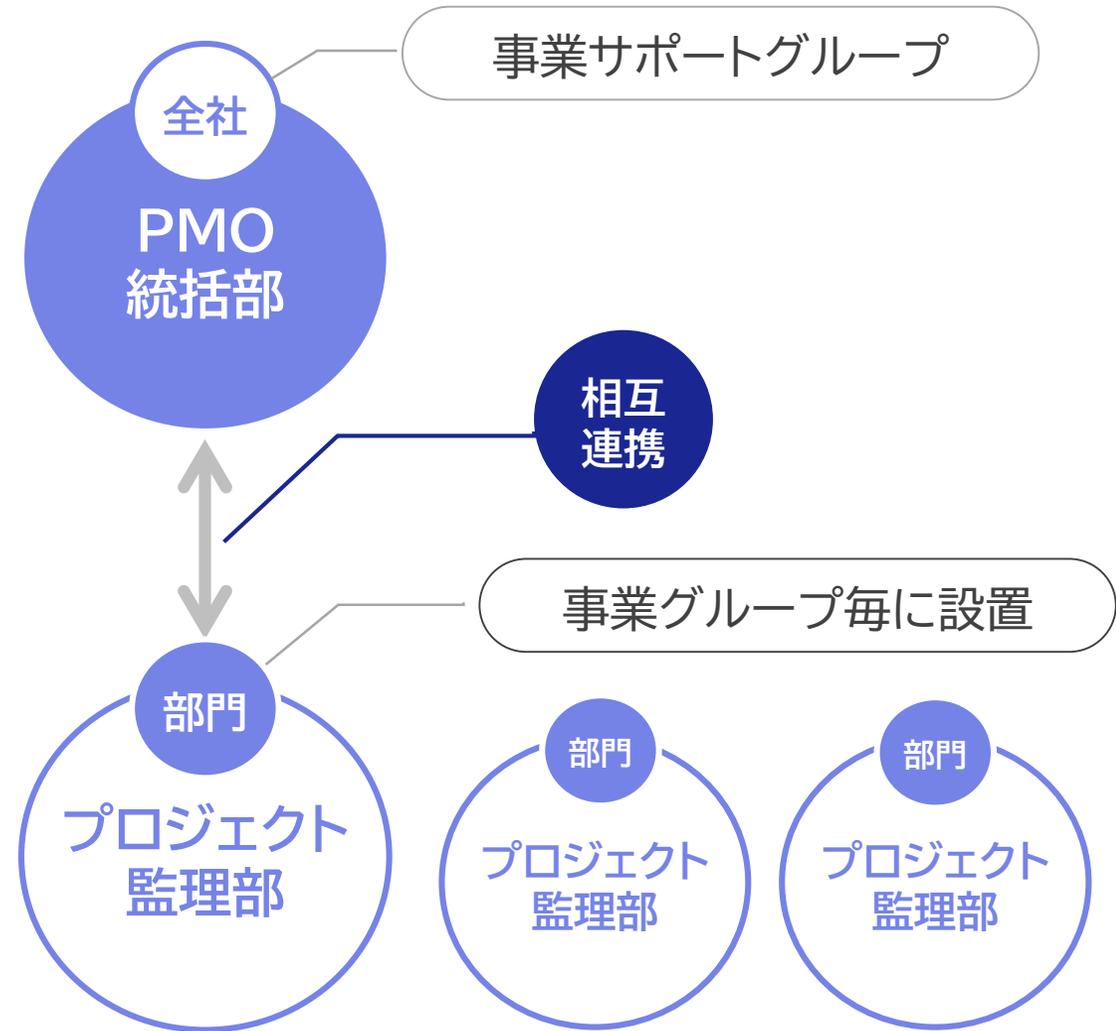
SCSKでは、プロジェクトで実施する一般的な品質管理プロセスだけでなく、**PMO**や品質管理部門などの第三者による品質向上施策を全社的に推進し、プロジェクトの全期間にわたって、**組織的**な品質向上に取り組んでいます。



## 当社のPMOの組織

SCSKでは、PMOを全社と現場に近い事業グループ毎に設置している部門の2階層の組織としています。

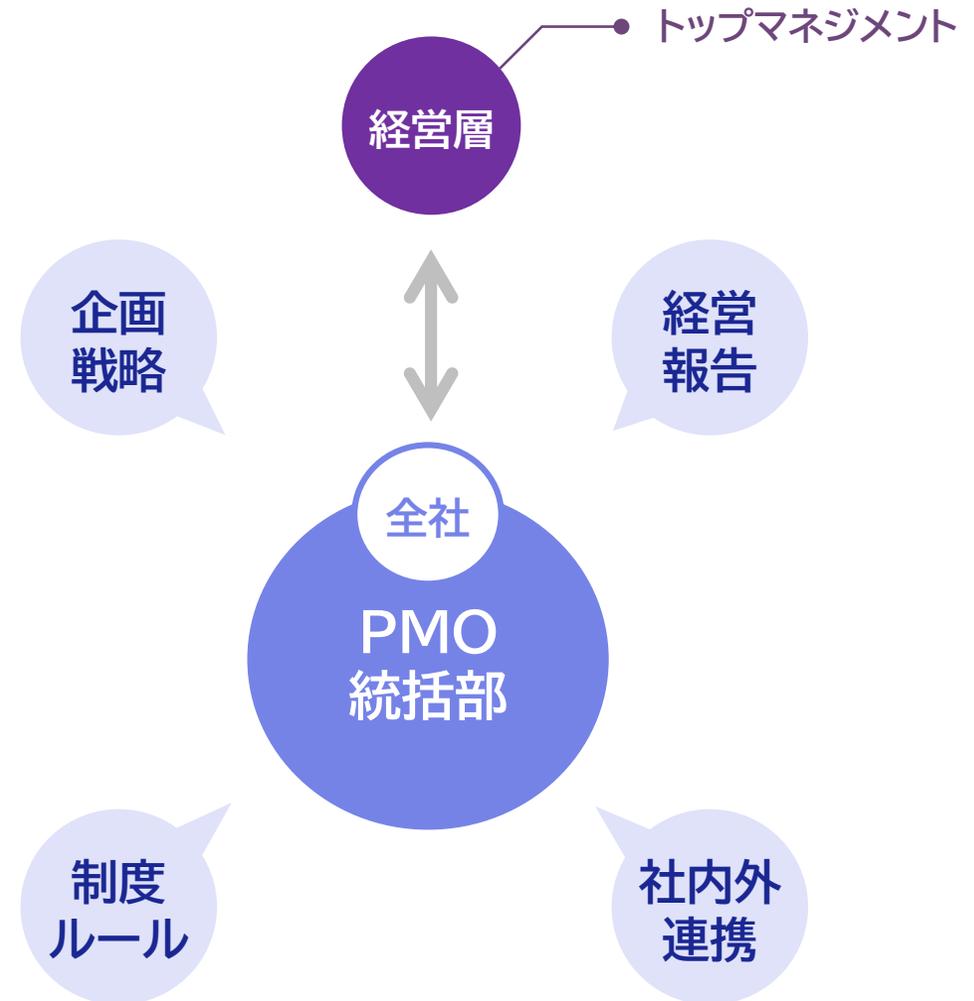
それぞれのミッションを遂行しながら、密接に相互に連携しつつ活動しています。



## PMOの役割 | 全社

全社PMOは、コーポレート型の組織として、主に**戦略**や**企画**の**立案**や、**経営層**の意思決定を支援、パイプ役を担っています。

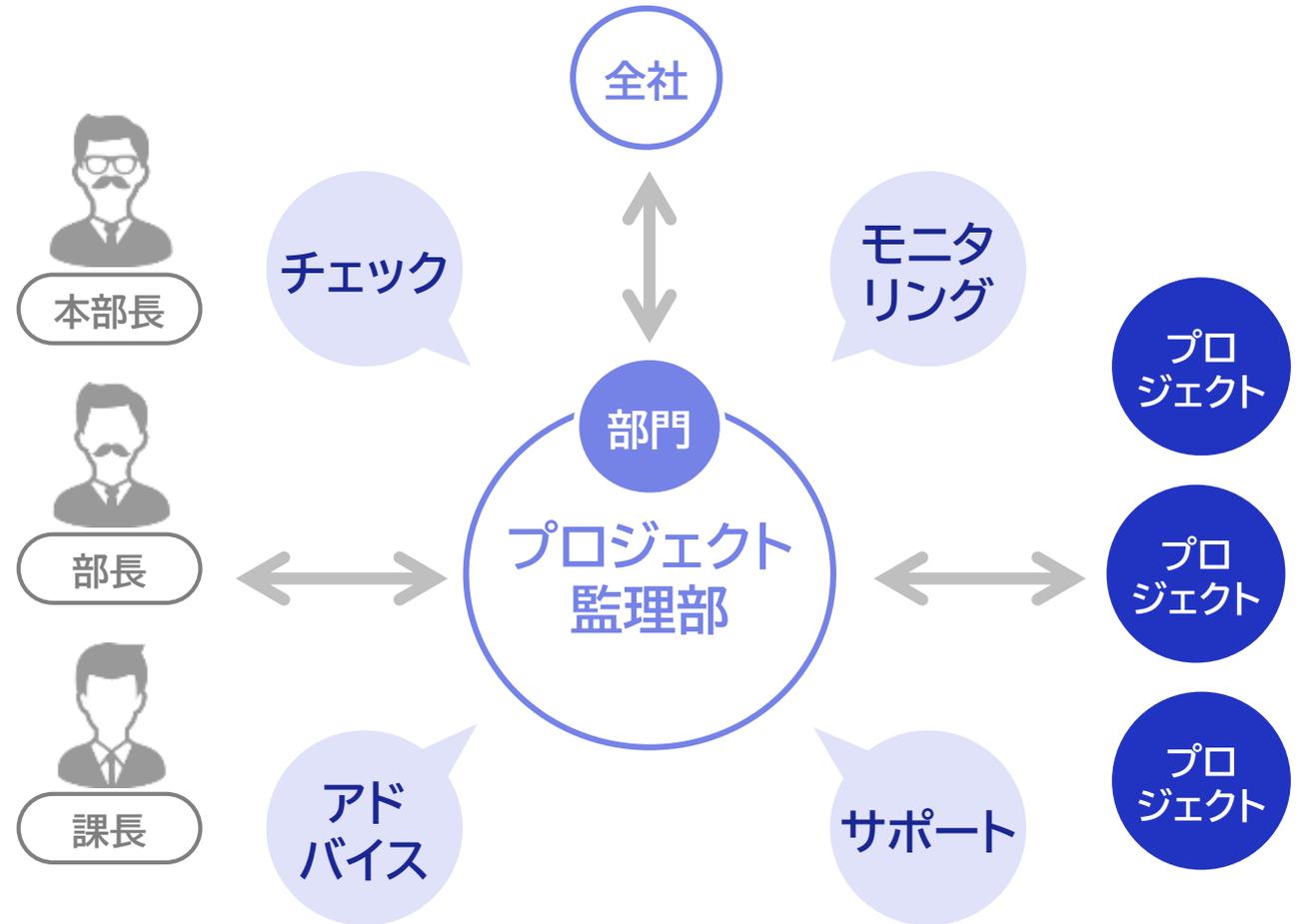
**経営**レベルの**課題**を解決するため、新たな取り組みや**施策**を**検討**し、プロジェクトの**品質向上**へ**貢献**しています。



## PMOの役割 | 部門

部門PMOは、現場密着で個々のプロジェクトに**寄り添い**ながら、監理の**制度**を**遂行**し、必要に応じて品質管理の支援等を行っています。

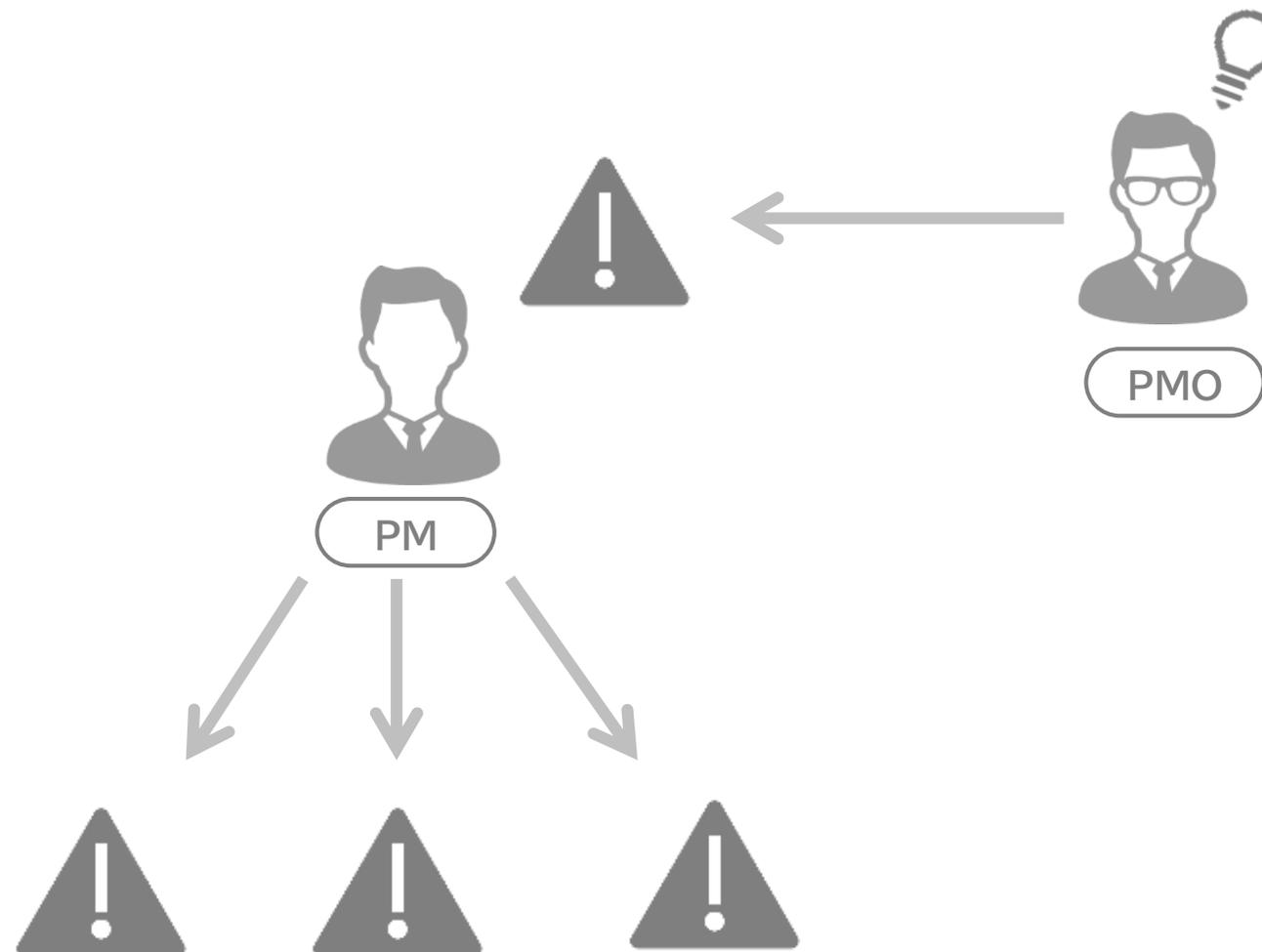
また、**ライン層**ともコミュニケーションすることで、**組織マネジメント**の**適正化**も推進しています。



## 客観的に俯瞰して動ける

経験豊富、実績十分なPMでも、**当事者**としては**気付けないリスク**があったり、気付いても適正な**評価**や**対処**ができないことが少なくありません。

**PMO**は、**客観的な事実**から早期に見付け、**トラブル**を未然に防ぐことが可能です。





## 3 監理制度と監視運営

## 3つのチェック制度

▶ 部門PMOが、主体となって制度を運営

1

プロジェクトチェック

2

成果物品質チェック

3

サービスチェック

観点

- QCD+リスク

- 要件・設計・実装

- 提供レベル

評価

- お天気

- 良・可・不

- 3段階

対象

開発プロジェクト

IT保守・運用

## プロジェクトチェック

▶ 3つのポイントで適正に監理し、適時にエスカレーション

1 事実を確証で

 SmartEpisode Plus

共通  
言語

2 評価をお天気で



イメージ  
し易く

3 報告をSE+(Navi)<sup>®</sup>で

SE+((( Navi )))

情報  
共有

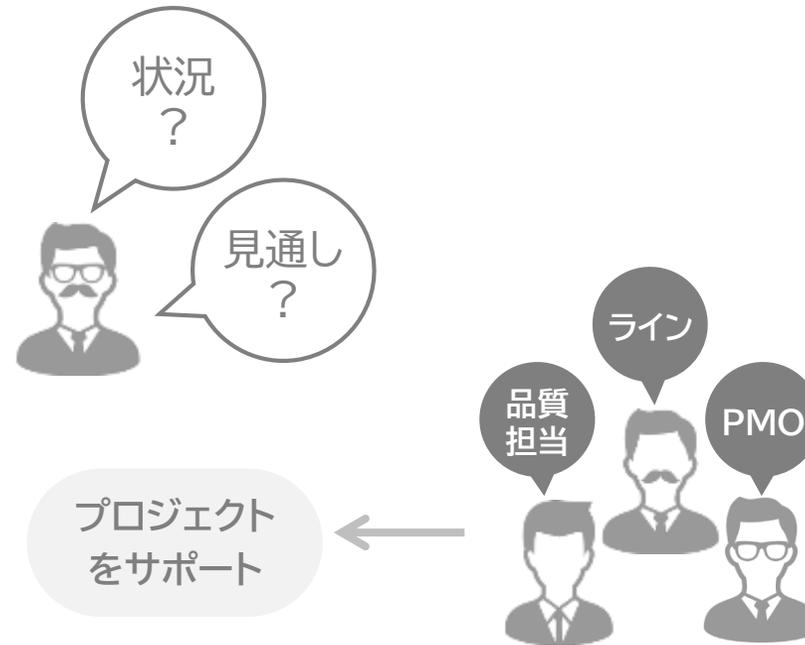
もし、雨になったら…



1 全社で共有 → 経営報告

2 組織で対策 → 早期改善

3 監視を強化 → 回復後に → 振り返って → 教訓化



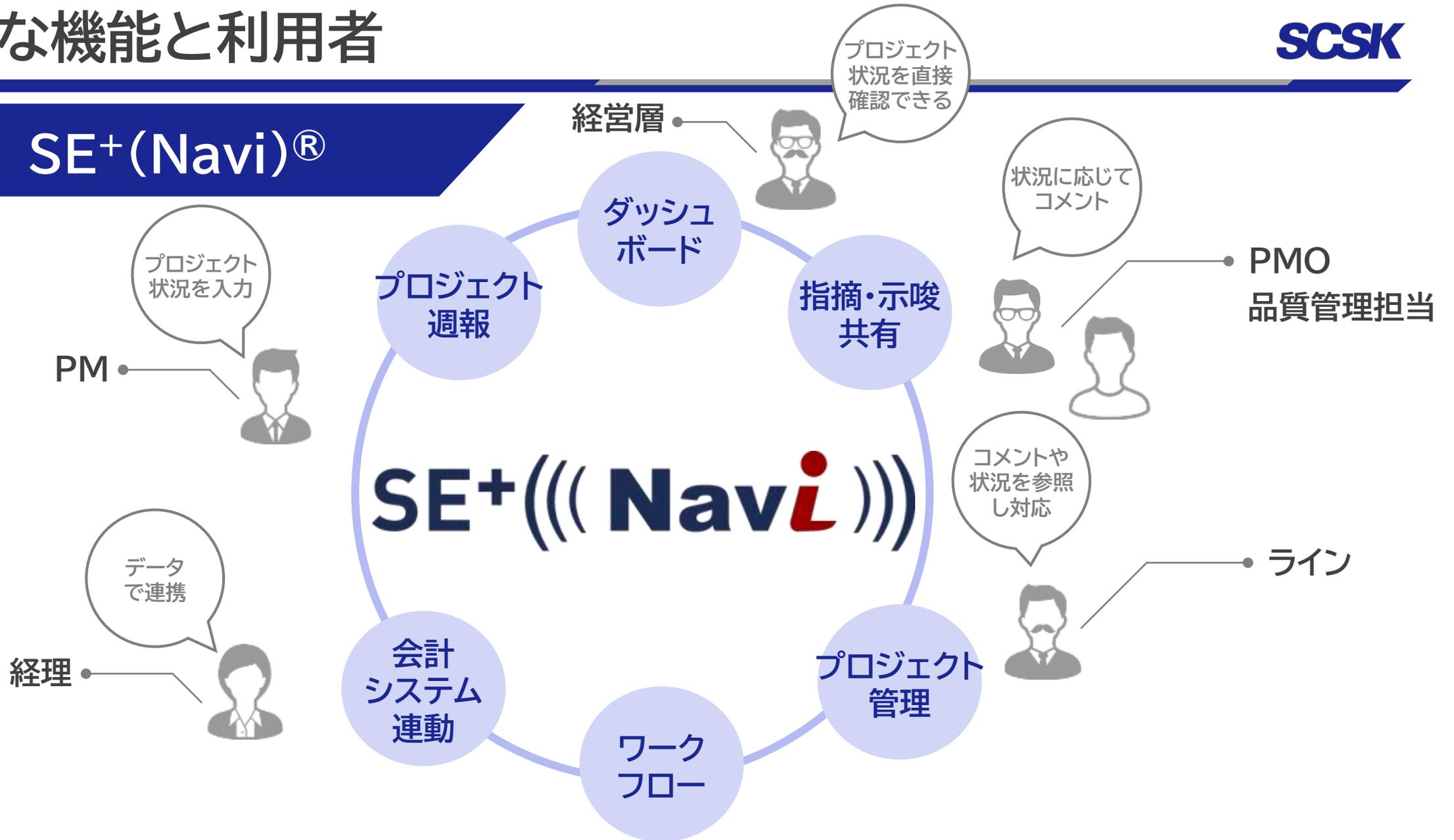
## SE+(Navi)®

### ▶ プロジェクト管理基盤システム

ビジネスの伸長に合わせて、プロジェクトは大型化・複雑化し、難易度が上がっています。こうした背景のなかで、プロジェクト運営の効率化や見える化を目的に、SE+®によるプロジェクト管理の基盤となる「SE+(Navi)®」システムを開発し、2016年度から導入しています。

SE+(Navi)®を利用することで、品質や採算などのプロジェクト状況や各種チェック結果の見える化を実現しました。また、これにより、ライン職によるプロジェクトファシリテーション、経営層による素早い経営判断を可能にしました。

## SE+(Navi)®



# 4 あるぞ、ITの可能性。

### News Release



2023年5月22日  
SCSK株式会社

#### 生成系 AI「SCSK Generative AI」を全役職員が業務利用開始 ～生成系 AI の安全・安心な利活用に向けて～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、自社専用環境に生成系 AI「SCSK Generative AI」(以下 SCSK-GAI)を構築し、全役職員が業務での利用を開始しました。役職員が生成系 AI を安全・安心に利活用できる環境およびガイドラインを整備し、生成系 AI を積極的に活用することで、業務の効率化・生産性向上や製品・サービスへの適用、新規事業創出を目指します。

諸事情でリンクのみ

▶ SCSKグループ公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/watch?v=Ge9lKRYGmNI>

ITの、  
つぎの、幸せへ。

IT for the Next Delight

**SCSK**

まとめ

## 共通言語としてのSE+<sup>®</sup>

### ① 品質や管理の考え方

## SE+<sup>®</sup>



SCSK  
グループ  
各社

パートナー  
各社

### ② 用語の統一

### ③ 各種ツールの共有

SCSK

# PMOは、環境に応じて**連携**や**情報共有**を**推進**

## SCSKニアシヨアシシステムズ

- 設立 | 2001年5月15日
- 事業 | リモート・エンハンス・サービス

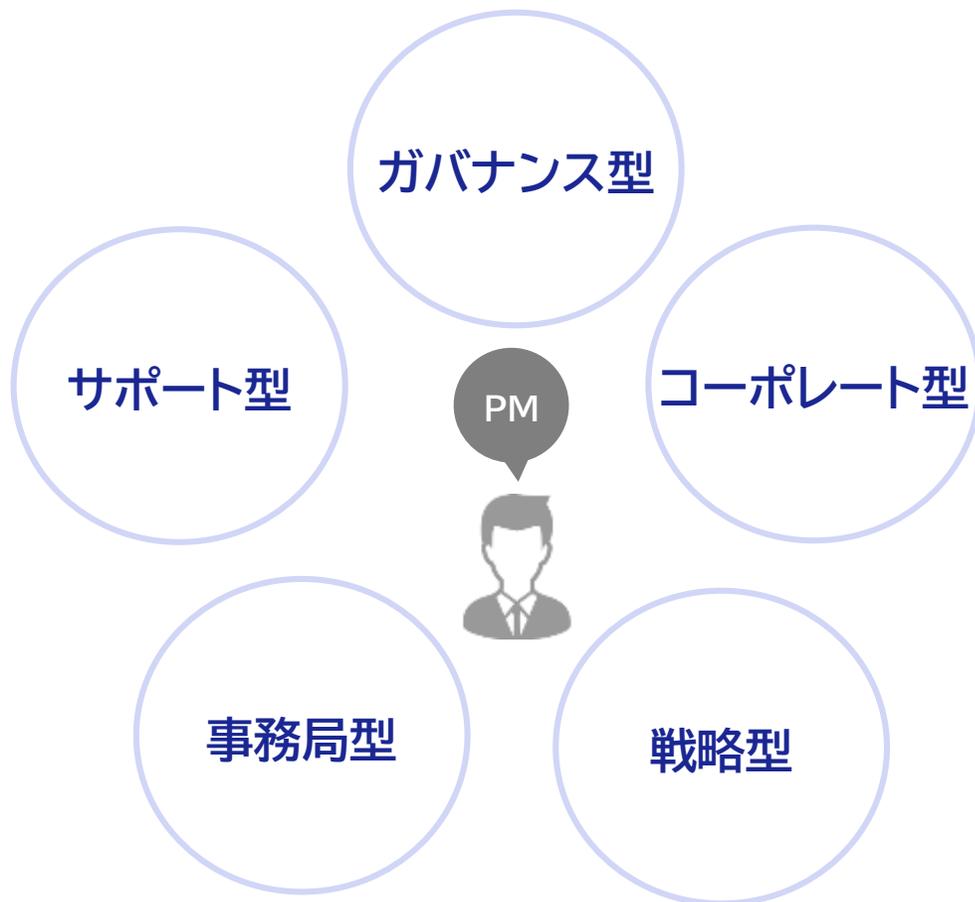
**11県 | 12拠点 | 約1000名体制** (2023年4月時点)

- SCSKおよびグループ各社のシステム開発サービスにおける**システム開発機能**を担う会社として、システム**ライフサイクル**、およびシステム**開発プロセス**における**中核**部分を担当

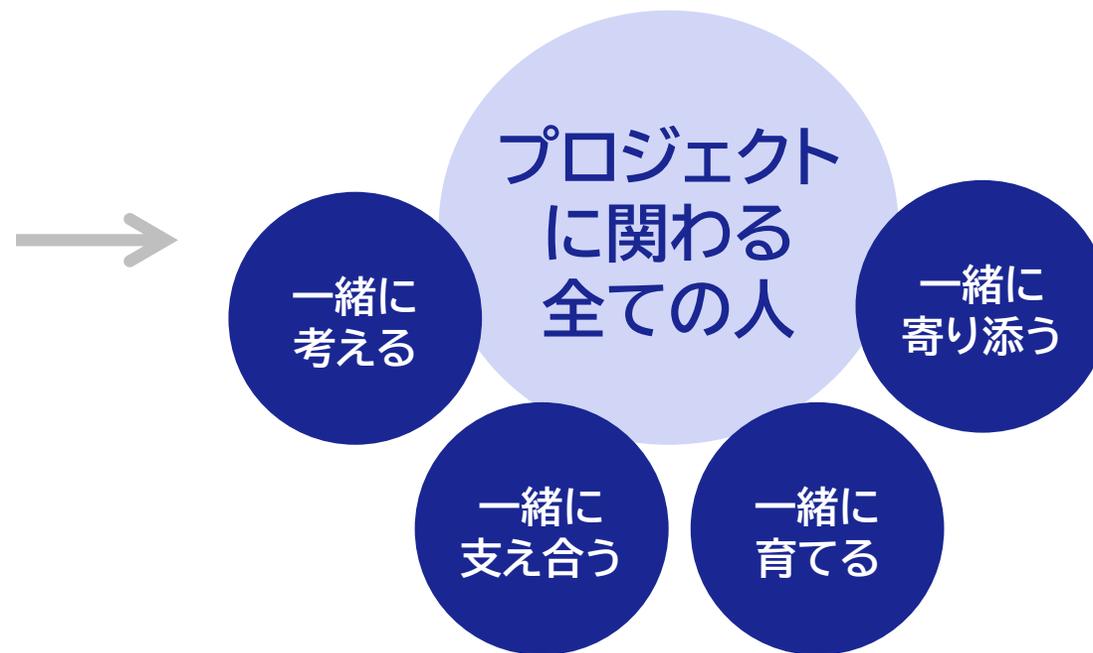


## PMOへの期待も変わる

▶ 今回、PMI日本支部法人スポンサー連絡会と言うことで...



## PMBOK®ガイド 第7版 型 PMO



## メッセージ

- ▶ PMOとして、こうありたい、目指したい…

# Embrace Change, Drive Success

変化を受け入れ、成功につなげる

---

As a PMO, it is our duty to not only keep up with change, but to embrace it and use it as a tool to drive success. Let's move forward together towards a brighter future.

PMOの役割は、変化に追従することだけでなく、変化を受け入れ、成功につなげるためのツールとして活用することです。皆さんと共に、より明るい未来に向けて進んでいきましょう！

**SCSK**

夢ある未来を、共に創る。